

平成 26 年度全学共通科目

「国際共生社会論実習」(学部)「国際共生社会論フィールド実習」(大学院博士課程前期)
募集要項

1. 科目

学部

国際共生社会論実習 (14N0084)

グローバル文化学実習 (14B8508) *

*グローバル文化学環所属でグロ文実習単位としての認定を希望する学生のみ履修登録できます。

大学院博士課程前期

国際共生社会論フィールド実習 (14S0242)

2. 目的

別紙シラバス参照

3. 国際調査実施時期と主な訪問先 (予定)

① ネパール 2014年8月30日から9月6日まで

カトマンズ市内のヘルスセンター、子ども病院、
ローカル NGO (Maiti Nepal, SERC, ECDC Nepal)、警察病院

② バングラデシュ 2014年8月30日から9月6日まで

国際 NGO の BRAC 農村開発活動、JICA プロジェクト
青年海外協力隊との意見交換、ダッカ近郊の日系縫製工場

*実施時期、訪問先については、事情により変更になる場合があります。

4. 対象者

本学の正規学生 (学部生、大学院博士課程前期学生)

✓ 学年、学部、専攻は問いませんが、途上国の平和構築と社会開発に関心を有する者であること。

5. 採用予定数

ネパール、バングラデシュ各 10 名以内

6. 費用 (昨年度から変更があります)

6 万円をグローバル協力センターの規定により支給します。この他、独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) に海外留学支援制度 (短期派遣) の受給資格を満たす学生には 6 万円の奨学金があります。

(支払は本人立て替え払いの後、後日精算をします。)

自己負担となる費用（ビザ取得費用、航空運賃の一部、海外旅行保険（必須加入）、予防接種、現地での宿泊・食事にかかる費用）は10万円前後になる見込みです。
履修登録後、国際調査をキャンセルした場合には、航空運賃等のキャンセル料は自己負担になります。

7. 申請書類（昨年度から変更があります）

申請書様式はグローバル協力センターホームページに掲載していますので、ダウンロードして必要事項を記入のうえ、学部 2 年生以上は成績証明書と共に**原本**をグローバル協力センターに提出してください。大学院博士課程 1 年生については学部の成績証明書の原本を提出下さい。メールによる提出は受付ません。

センターホームページ：<http://www.ocha.ac.jp/intl/cwed>

提出先： グローバル協力センター 学生センター棟 3F 308 室

センター開室時間：月～金 10:00～17:00

問合せ： 電話：03-5978-5546 メール：info-cwed@cc.ocha.ac.jp

8. 申請受付締め切り

2014年5月23日（金）17:00（期限厳守）

9. 選考および結果の通知

書類審査の結果を2014年5月30日頃 本人にメールで連絡します。

履修者決定後、教員から教務に履修登録を依頼します。

履修する方は、6月から実施される説明会と事前勉強会に必ず参加してください。

10. 参加者の義務

履修者は全員単位を取得すること。不定期通年科目として6月から8月までの事前学習、8月末から9月上旬の現地調査、10月、11月の帰国報告会と徽音祭展示まで約半年間にわたって実施する。海外調査のみ参加の聴講は認めません。

出発前： 説明会（兼海外安全講習）、事前勉強会（別紙カレンダー）への参加
センター所定の参加届、海外安全対策届、誓約書の提出

調査中： 調査プログラムの遵守（個別行動は認められません）

帰国後： 報告書の提出（9月26日締切）

事後勉強会、学内で実施する報告会への参加、徽音祭でのパネル発表

※ 履修決定者・JASSO 奨学金該当者には別に JASSO 奨学金の申請書類(6月中旬まで) および報告書類 (9月中旬まで) を提出していただきます。

以上